



# 清和台コミュニティ協議会 福祉部会 (清和台地区福祉委員会)第5次地区福祉計画



## 地区の特徴

清和台地区は、川西市の北西部に位置し、昭和40年代半ばから戸建て住宅や共同住宅を中心に開発され、教育施設や商業施設、医療・介護施設、スポーツ施設などが整備された「清和台」と、旧来からなる住宅地に大型物流施設が混在する「石道」、「ライオンズマンション清和台」、「虫生」、「赤松」、「柳谷」の6地区がコミュニティを形成し、背に岩根山・六石山を拝し、地には清流猪名川を臨み、市の北の玄関口として道路網も整備された、自然豊かで居住環境の整った地域です。

しかしながら、この地区においても少子高齢化や核家族化の波は急速に進展しており、ますます地区福祉活動の重要性が高まっております。我々福祉委員会は、地区住民が安全で安心して暮らし続けられる地区・住みたい地区を目指し、本第5次地区福祉計画を基に、一層充実した取り組みを行って参ります。

## 福祉目標

### 清和台地区の人口、世帯数、高齢化率

人口等のデータは  
コチラ→



かわナビは  
コチラ→



つながりと支え合いで、安全・安心して暮らせるまち清和台

## 地区の重点事業

重点  
1

地区福祉活動を担う人材の確保と育成

重点  
2

高齢者・障がい者(児)が参加・活躍できる居場所・機会づくり

重点  
3

心豊かで思いやりのある子育て支援の充実

重点  
4

相談事業の充実・継続と広報・啓発の積極的な推進

## 地区別ワークショップでの意見

- ◇ 地区内事業者(商業・医療・福祉施設)との連携した取り組み
- ◇ 若い人が参加しやすく世代を超えた交流
- ◇ 公共施設・空き家等を活用した居場所づくり
- ◇ 高齢者の活躍できる機会づくり
- ◇ 独居高齢者の掌握
- ◇ 認知症予備者の掌握と活動参加
- ◇ 高齢者の移動支援
- ◇ 障がいを知り、障がい者家族との関わり方の検討
- ◇ 障がい者が参加できる環境づくりの充実
- ◇ 子どもを地区で見守る仕組みづくり
- ◇ 世代間交流の機会を増やす
- ◇ 子どもの居場所づくり

## 第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇福祉活動を担う人材確保と育成
  - ・学校活動に対する保護者の関わり方が困難な時代になっていることから、繋がりが持てる取り組みが必要
  - ・自治会組織への一層の働きかけに加え、地区内居住の若い世代の人材確保への積極的な働きかけが重要
- ◇高齢者が地区福祉活動に参加しやすいきっかけづくり
  - ・参加者が受け手ではなく、担い手として主体的に参加できるような働きかけを継続する
  - ・活動者の高齢化の進展等から、需要と供給のバランスが崩れる傾向にある
  - ・地区ホームページや広報紙の積極的な活用で活動参加者を募る必要がある
- ◇地区の資源（施設・人材）を活用した居場所づくり
  - ・自治会館を活用し、各会館周辺居住住民の理解の下、新たな居場所の開設が必要
  - ・地区内空き住宅の活用ができないか要検討
- ◇地区と関係団体とのつながり、ネットワークの強化
  - ・福祉ネットワーク会議を活用し、関係団体とのつながり、ネットワークの強化を図り、幅広い参画を呼び掛ける
- ◇窓口事業（くらしの相談窓口「こころ」）の継続と充実
  - ・窓口の周知が不十分なため工夫を凝らした周知方法を検討
  - ・窓口スタッフの確保と養成が重要
  - ・窓口スタッフの研修を一層推進することが重要

### 現在の地区の取り組み



○福祉ネットワーク会議 ○啓発・広報事業 ○窓口事業（くらしの相談窓口「こころ」） ○助け合い事業（助け合いネットワーク・災害時要援護者支援・和カフェ・ひとやすみカフェ・行方不明者SOS） ○交流事業（ふれあい広場・ほのぼの会・さんりんしゃ・じてんしゃ・オンリーワン交流会） ○地域イベント事業（敬老のお祝い・とんど祭り・餅つき大会・文化祭出店・さくら祭り出店） など



## 目的

元気な高齢者や若い世代の参画を促進し、幅広い人材の確保により、福祉活動の一層の推進を図る。

## 具体的取り組み

- 福祉ネットワーク会議で、学校関係保護者や地区内事業者等に活動参画を要請する。
- 自治会役員(福祉委員)に任期満了後の福祉委員就任を働きかけ、福祉委員会組織の強化と充実を図り、持続可能な組織をつくる。
- 自治会を通じ福祉活動の協力者を募る。
- 地区内居住の学生を中心に各事業への参画ボランティアを募る。

## 目的

高齢者・障がい者(児)が元気で楽しく、生きいきと暮らし活躍できる居場所・機会づくりを推進する。

## 具体的取り組み

- 「ほのぼの会」・「ふれあい広場」や「カフェ」を通じ、引きこもりがちな高齢者や障がい者(児)の参加・活躍を促進すると共に、認知症の予防にも繋げる。
- 現役をリタイアされた方の経験を誘導し「助け合いネットワーク」を活性化させる。
- 「オンリーワン交流会」を通じ、障がい者や障がい児の集い、保護者の交流を充実させ、地区活動に参加・活躍できる環境づくりを一層推進する。
- 災害時の要援護者支援者を拡充させ、安否確認や避難所への誘導など安心して暮らせる環境を整える。
- 民生委員・児童委員、主任児童委員、認知症サポーター、キャラバンメイトによる活動を充実させる。また、認知症予備者の発掘・働きかけを研究し推進する。
- お買い物・通院などの移動支援の検討や新たな居場所づくりに取り組む。

## 目的

元気ある声が息づき、心豊かで思いやりと感謝の気持ちを育む、地区の次代を担う子どもの育成を目指す。

## 具体的取り組み

- 「じてんしゃ」において、昔あそびや世代間交流等を通じ、思いやりのある豊かなところを醸成する。
- 「さんりんしゃ」において、子育て中の親の交流を推進し、安心して子育てできる地区環境をめざす。
- 「子ども食堂」の安定本格実施に向けた取り組みを支援し、食の安全・安心や大切さ、友達づくりなど、子育てを推進する。



## 目的

少子高齢化・核家族化の時代にあつて、清和台地区における地区福祉活動の重要性や必要性、共助意識の高揚を図るとともに、頼られる福祉活動の拠点化を目指す。

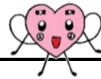
## 具体的取り組み

- 暮らしの相談窓口「こころ」や「つながりサポート」において、地区住民の身近な相談やよろず相談、一人暮らしの安否確認等に取り組み、関係機関と連携した、安全で安心して暮らせる地域づくりを推進する。
- 窓口スタッフの増強を図る。
- 窓口スタッフの研修を充実させ、スタッフの資質の更なる向上を図る。
- 「広報」・「啓発」に工夫を凝らし、SNS等を活用して、安全・安心な“ふくしのまち 清和台”をアピールしていく。
- 川西市、社会福祉協議会、地域包括支援センター、警察署・学校・福祉施設など関係機関と連携を密にし、安全で安心して暮らせる地区づくりを推進する。



## 清和台地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

▶令和4年 2月 2日 (木)	第4次地区別計画 検証
▶令和5年 6月27日 (火)	地区別ワークショップ 開催
▶令和5年10月27日 (金)	地区別ワークショップ 開催
▶令和5年 9月26日 (火)	第1回第5次地区福祉計画策定委員会 開催
▶令和5年11月15日 (水)	第2回第5次地区福祉計画策定委員会 開催
▶令和5年12月12日 (火)	第3回第5次地区福祉計画策定委員会 開催
▶令和6年 1月15日 (月)	第4回第5次地区福祉計画策定委員会 開催



# 清和台地区福祉委員会事業一覧表

事業名	区分	内 容 内容、回数、定期開催の場合は曜日	
	新規/重点		
つながり・支え合う共生の地域づくり			
福祉ネットワーク会議	重点 つながり	学校・福祉事業所等福祉関連団体が集い、情報交換や地域の課題を協議し解決策を図り実践に導く関係団体等の加入促進を図る (3回/年)	人材
啓 発	重点 つながり	自治会や福祉関連団体等に対し、福祉講座、医療講座等福祉に関する課題研修を定期的実施し、部会内外への周知・啓発を図る (随時)	啓発
広 報	重点 つながり	地区福祉活動だよりを「せいわだいにゆ〜す」に毎月1回掲載、ふくしのまち清和台を年2回発行、ポスター・パンフレット、Instagramの活用による事業参加を推進	啓発
窓 口	重点 暮らし	くらしの相談窓口「こころ」を開設し、よろず相談、専門機関・ボランティアへの取次ぎ、一人暮らし高齢者の見守りと安否確認、認知症行方不明者SOS受発信、車いす貸出等実施 (毎週月曜～金曜)	相談
つながりサポート	新規 重点 つながり	地域の高齢者への新たな通信手段の一つとして、スマホやタブレットを用いたつながりを目指す ペイペイ知識やInstagram研究、詐欺情報の共有など十分な研究を経て実現を目指す (1回/月)	交流
要援護者支援	重点 支え合い	コミュニティと連携して災害時における要援護者の安否確認と一時避難場所までの誘導を支援 行政との連携に加え、支援者の拡大・充実を図る	高齢
ほのぼの会	支え合い	65歳以上のお一人暮らしの高齢者を対象に、親睦と見守りを兼ねた交流会を年1回以上開催 一人暮らし高齢者の把握と参加誘導を工夫	高齢
さんりんしゃ	つながり	子育て中の親と子どもの交流会。子育ての悩み事や情報交換・子ども遊び等を通じ、子育ての楽しさを実践 (第2水曜/月)	子供 交流
じてんしゃ	つながり	地域イベント「とんど祭り」で昔遊びや3世代交流 自転車講習を実施し、地域住民と子どもたちの交流を図る (1回/年)	子供 交流
オンリーワン交流会	支え合い	障がい者(児)の集い、保護者の情報交換交流会を年2回実施、カレーパーティ随時実施	障害
地域イベント事業			
敬老のお祝い		70・77・80・88・90・99・100歳以上の方にお祝い品を配付 (敬老の日)	
さくら祭り出店		焼きそば・綿菓子・ポップコーンの店の出店 (売上:自主財源)	
文化祭出店		うどん・炊き込みごはん・綿菓子・ポップコーンの店の出店 (売上:自主財源)	

事業名		区分 新規/重点	内 容 内容、回数、定期開催の場合は曜日	
つながり・支え合う共生の地域づくり				
地域イベント事業	餅つき大会		地域住民・子ども達を交えた、3世代交流の餅つき大会 杵つき餅を一般住民に配布	
	とんど祭り		とんど祭り時のじてんしゃ事業(昔遊び・子ども交通安全講習会等)に加えぜんざいを提供	
誰もが安心して生活できる基盤づくり				
子ども食堂支援	暮らし	新規 重点	コミュニティ事業として、令和5年9月より毎月2回(第2・第4金曜日、17時～19時50分)公民館で実施、食事提供と自習(宿題)やお遊び等、安定本格運営まで支援	子供
「和」カフェ (認知症カフェ)	生きがい	重点	認知症の方の介護等で悩まれている方々の集い 休日の午後のひと時を、お喋りや軽体操、歌唱等を通じて元気回復の一助事業 (1回/月)	高齢 交流
「ひとやすみ」カフェ (認知症カフェ)	生きがい	重点	介護や子育てをされている方、お一人暮らしされている方を対象に、地域商業者と協調開催する事業 お茶と音楽で「ホッ」と一休み (1回/月)	高齢 交流
助け合いネットワーク	安全安心	重点	家事活動の支援を希望される高齢者や病弱な方、障がいのある方等を対象に、地域の登録ボランティアが支援する事業で、ゴミ出し、簡易な大工工事、草引き、草刈り、買い物・通院付き添い等多種 (随時)	高齢
行方不明者SOS	安全安心	重点	民生委員・児童委員、地域の認知症サポーター、キャラバンメイトを中心とした活動 認知症を正しく理解し、そっと見守り、手助けができるよう「認知症サポーター養成講座」開催	民生
ふれあい広場	生きがい		地域住民が気軽に立ち寄れる、楽しい「集いの場・居場所」で、地域活動家協力によるイベントや映画会、お茶のみ談話等実施 (1回/月)	交流

# 清和台地区福祉委員会 計画策定委員名簿

(順不同)

所属	氏名(敬称略)
清和台地区福祉委員会	武田 由美子
清和台地区福祉委員会	西口 幸子
清和台地区福祉委員会	高須 共子
清和台地区福祉委員会	庄田 徳男
清和台地区福祉委員会	岸野 紀美
清和台地区福祉委員会	村上 智永子
清和台地区福祉委員会	大塚 みゆき
清和台地区福祉委員会	武田 容美
清和台地区福祉委員会	河合 泰教
清和台地区福祉委員会	中村 清秀